

MonthlyTimes (H27.6月号)

☆創造・自律・共生☆

★有田中央高等学校★

第5回地域協育会総会開催

6月13日(土)午後1時から本校体育館で「第5回有田中央高校地域協育会総会」が開催されました。「この地域の未来を託す若者を“みんながかり”で育てよう」学校・家庭・地域社会の熱い想いが結集し、地域協育会が設立されて4年。5年目を迎える節目としての総会です。今年も生徒が中心になって総会を進め、議事終了後は、生徒による発表が行われました。情報系列、商業系列が授業内容や取り組みについて発表、軽音同好会、体操部、少林寺拳法部、吹奏学部らは演舞や演奏、ダンスを披露し、日頃の練習成果を存分に発揮しました。アグリスマイルは6次産業化モデルプランとして考案した「新スパイス」を紹介し、また一步自分たちの夢が実現に向かって進むことになったと発表しました。地域協育会の取組が生徒の成長につながっていることを、少しでも感じていただけたことと思います。この日は、午前中に公開授業や進路セミナーなども実施し、学校の取組や生徒の学習の様子も参観していただきました。



総体で一生懸命がんばった!



5月下旬から6月上旬にかけて、県下各地で開催された県高等学校総合体育大会に、本校から9クラブが出場し、健闘しました。

陸上部の3年生土井沙耶佳さんは400Mハードルで見事優勝(歴代2位のタイム)、110Mハードルで2位入賞、そして100Mでも4位に入り、近畿大会の出場を決めました。顧問の櫻井先生によれば、「土井さんは努力家で、今回の成績は日頃の練習のたまもの」とのこと。近畿大会では400Mハードル準決勝で惜しくも敗退し決勝進出は逃したものの、よく健闘しました。



7月12日には野球部も県大会に出場します。対戦相手は強豪の智弁和歌山高校に決まりました。陸上部に続いての健闘を期待します。文化系では、囲碁部の2年生堀智也君がB級で優秀賞に入賞しました。

応募前サマー企業ガイダンスへ参加!

6月19日(金)12時15分から高校生の県内企業への就職を支援するため、和歌山県と県教育委員会が中心となって開催された「応募前サマー企業ガイダンス2015」へ3年生76名が参加しました。就職を希望する県内の高校3年生に、生まれ育った地元の企業を知ってもらい、若者の県外流出を抑えようと開かれたものです。

県内の公立私立高校39校から2100人が参加、県内企業も10業種111社が集まり、各ブースで同業他社との違いや企業の歴史などをアピールしました。生徒たちは、興味のある業種や企業の担当者の話に耳を傾けました。

本校では、生徒にとって県内企業の概要や様々な業種・職種を研究する絶好の機会ととらえ、キャリア教育の一環として就職希望の生徒全員が参加しました。

一方、進学希望者の54名は「進路決定に必要な心がまえと、各学校の種類と選抜方法について」という話を全体会で聞いた後、各種必要書類の説明を受け記入練習、エントリーシートの作成、面接練習等を行いました。

系列NEWS

☆福祉系列「介護実習」に取り組む!

福祉系列の生徒は、老人福祉施設の協力をいただき、介護実習に取り組みます(2年生:7月21日~9月2日、3年生:6月25日~8月7日)。実習では、職員の方々の指導の下、利用者の方々とのコミュニケーションの取り方や、適切な支援について、さらに、3年生は施設の役割と機能についても実践的に学んでいきます。

実習では、社会人としてのルールの順守や、自主的、積極的な姿勢が求められるため、思うようにいかず落ち込む場面もあるようです。そんなとき、職員や利用者の方々の支援や励ましが大きな支えになっていると聞きます。

暑い時期、長期にわたる実習ですが、将来の立派な介護福祉士を目指して、頑張ってください!



☆農業系列 恒例の田植えで汗をかく!



6月2日(火)、農業系列2,3年生16名が授業のなかで、有田川町瀬井にある棚田で田植えを行いました。今年も品評会・文化祭で行う餅投げ(餅つき)のために、モチ米を植えました。

棚田での農業実習は、地域と連携した棚田保全を大きな目的としており、今年で7年目となります。

昔ながらの手作業による田植えで、初めて体験する生徒もいましたが、地域の方々や教員の指導もあり、何とか様になったようです。河本校長先生も参加しましたが、「改めて大変な作業だと実感しました。」とお話でした。田植えの後は地域の方から、棚田での農業について貴重なお話を伺いました。

農業系列では、棚田での実習や調査等を通して、地域の農業の特色や課題について理解し、今後の農業の方向性について考えを深めていく予定です。